

自転車利用に関するアンケート調査結果

平成20年6月

区民会議 防災（減災）・防犯・交通部会

1. 調査の概要

1-1. 調査の目的

区民の方が、日常における自転車の利用実態や利用マナー等についてどのようにお考えになっているのかを把握し、今後の検討の参考とするため、アンケート調査を実施した。

1-2. 調査項目

個人属性	性別、年齢、自動車の運転状況、自転車の保有状況
自転車利用の実態	利用頻度、利用目的、走行場所、走行の速さ、走行時の危険性
自転車に関するルール、マナー	歩道における自転車による通行方法、 道路交通法改正による通行方法の変更の認識、 自転車の通行区分の認識、自転車利用時の違法行為について、 歩道上における自転車との事故の遭遇状況と事故の内容
自転車対策への要望	要望する自転車対策

1-3. 調査の方法

(1) 調査票の配布方法、実施時期

対象者	配布・回収方法	実施時期
区民会議委員及び委員の家族、知人等	直接配布・直接回収	H20. 2. 18～3. 14
区役所職員	〃	〃
区役所への来訪者	ホールにてヒアリング	H20. 3. 10～3. 14

(2) 回収結果

906票

自転車利用に関するアンケート調査

現在、青葉区民会議では、自転車利用について検討を行っています。そのため、日常における自転車の利用実態や利用マナー等についてどのようにお考えになっているのかを把握し、今後の検討の参考とするため、アンケート調査を実施することになりました。

調査結果については、統計的に処理させますので、あなたの意見や個人情報が直接公表されることはありません。また、いただいたご回答は、本調査の目的以外には利用いたしません。

あなたご自身についてお聞きします。

性別	1. 男性 2. 女性
年齢	() 歳
住所	1. 青葉区内 () 町 2. 青葉区外 () 区・市町村
自動車の運転状況	1. 運転する 2. 運転しない
自転車の所有	1. 自分専用の自転車を持っている 2. 家族等で共用の自転車を持っている 3. 自転車は持っていない
日常の自転車利用の頻度	1. ほぼ毎日利用している 2. 週3、4回利用している 3. 週1、2回利用している 4. その他 () 5. 利用していない →問5へ
自転車を利用する時の主な目的 (1つ回答)	1. 通勤・通学 2. 買い物 3. 仕事(配達等) 4. サイクリング 5. 子供などの送迎 6. 遊び・娯楽、レジャー 7. その他 ()

自転車の利用状況についてお聞きします。

問1. 自転車を利用する場合、主に道路のどこをどのくらいの速さで走行していますか。

走行場所	1. 車道 2. 歩道 3. 両方
走行の速さ	1. 歩行者と同程度 2. 歩行者よりやや速い 3. のろのろ走行する自動車並(時速20km程度) 4. それ以上の速さ 5. その他 ()

問2. 車道を走行する場合、どのように感じていますか。(複数回答可)

1. 自動車が怖く、危険である 2. 路上駐車が邪魔である 3. とくに危険は感じていない 4. その他 ()
--

問3. 歩道を走行する場合、危険と感じたことがありますか。

1. ある 2. ない 3. その他 ()

↓
2. 3. の方は、問5へ

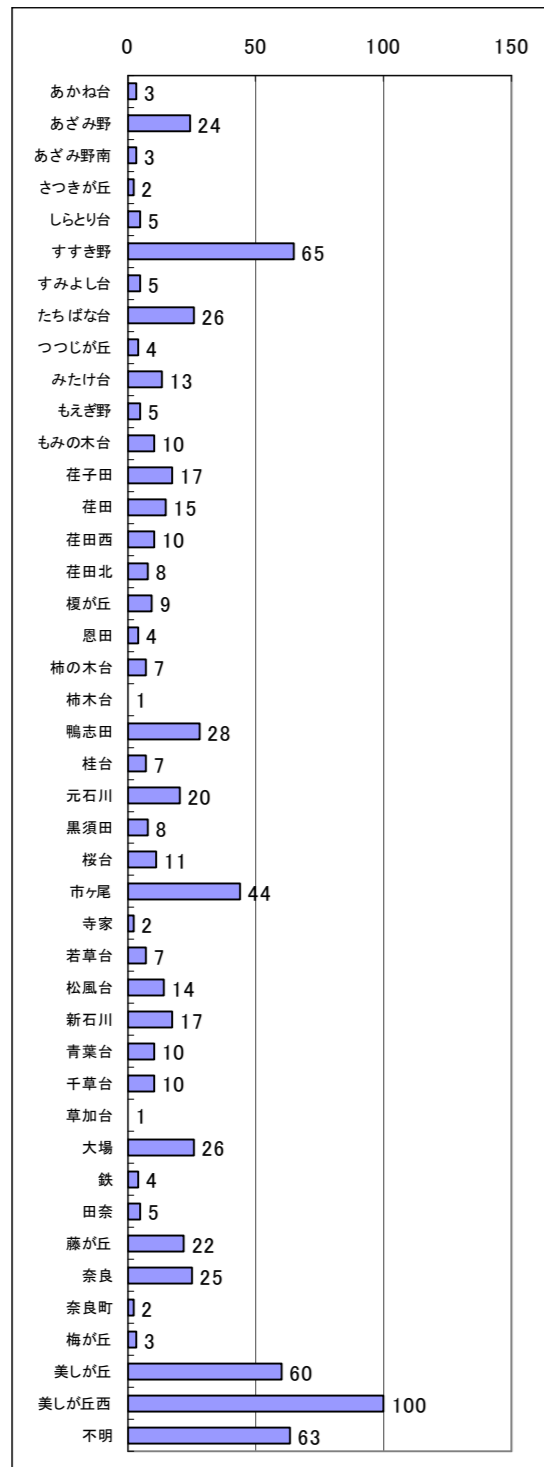
問4. 歩道を走行する場合に、最も危険と感じたときはどんな時ですか。

1. 歩行者とぶつかりそうになった時 2. 自転車とぶつかりそうになった時 3. 歩道上におかれている看板等にぶつかりそうになった時(場所:) 4. その他 ()
--

2. 調査結果

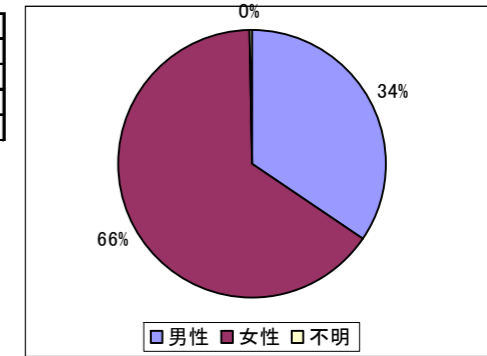
2-1. 回答者の属性

- 回答者の性別は、男性と女性の比率は1：2となっている。
- 年齢層は、サンプル数が少ない年代もあるが、ほぼ全年代層からの回答が得た。
- 区内の居住者の住所は、ほぼ全域となっている。
(ただし、地域ごとの傾向を分析できるほどのサンプル数ではない。)
- 自動車の運転状況は、約6割が運転していると回答している。
- 自転車の保有状況は、約4割が自転車を持っていない。



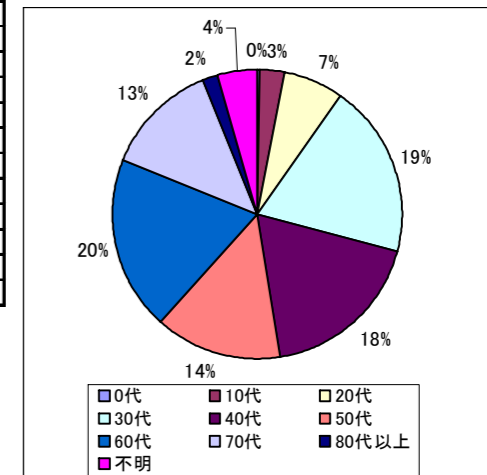
性別

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	男性	312	34.4	34.6
2	女性	591	65.2	65.4
	不明	3	0.3	
	サンプル数(%ベース)	906	100	903



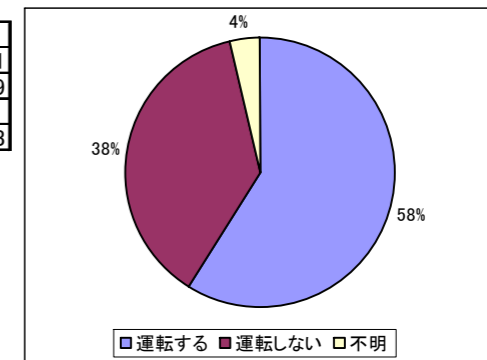
年代

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0代	3	0.3	0.3
2	10代	24	2.6	2.8
3	20代	62	6.8	7.2
4	30代	176	19.4	20.3
5	40代	166	18.3	19.2
6	50代	128	14.1	14.8
7	60代	177	19.5	20.4
8	70代	114	12.6	13.2
9	80代以上	16	1.8	1.8
10	不明	40	4.4	
	サンプル数(%ベース)	906	100	866



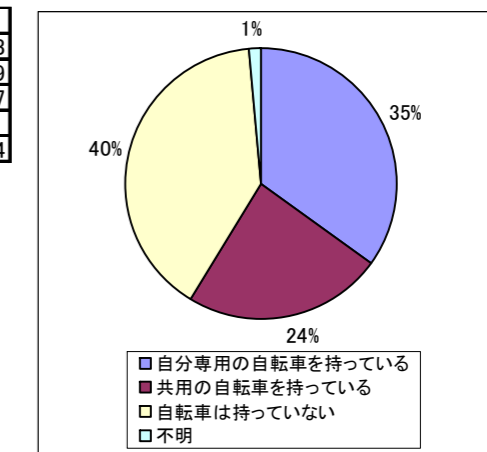
自動車の運転状況

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	運転する	533	58.8	61.1
2	運転しない	340	37.5	38.9
	不明	33	3.6	
	サンプル数(%ベース)	906	100	873



自転車の所有状況

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	自分専用の自転車を持っている	316	34.9	35.3
2	共用の自転車を持っている	214	23.6	23.9
3	自転車は持っていない	364	40.2	40.7
4	不明	12	1.3	
	サンプル数(%ベース)	906	100	894



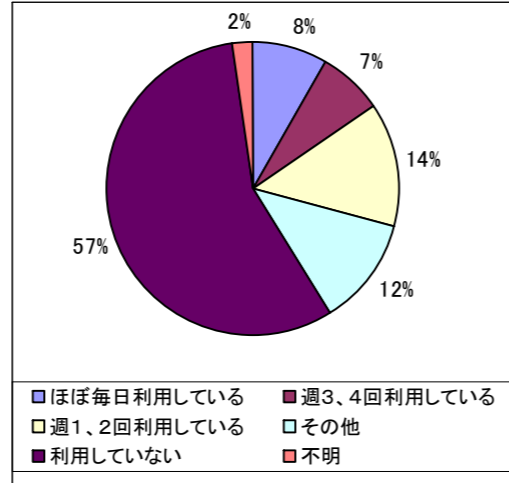
2-2. 自転車の利用実態

(1) 自転車の利用頻度と目的

- 自転車の利用頻度は、「週1、2回」が多くなっている。
- 自転車の利用目的は、買物目的による利用が多い。

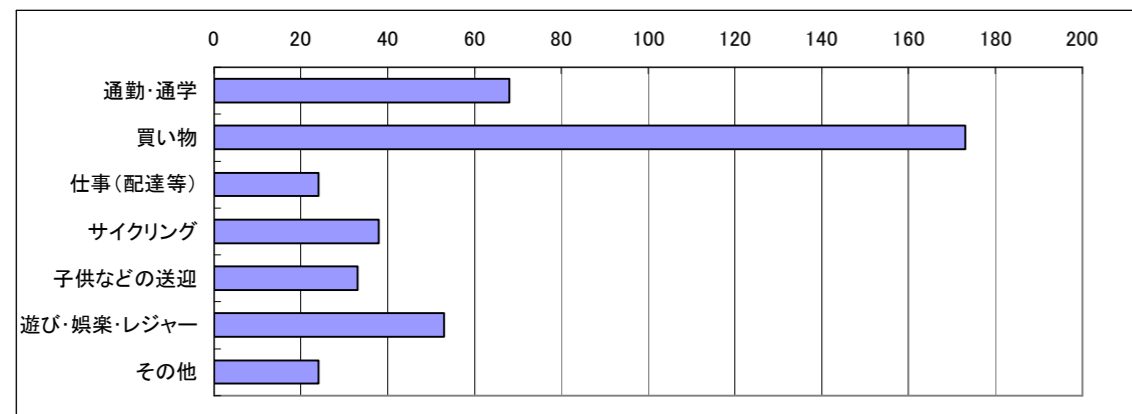
自転車の利用頻度

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ほぼ毎日利用している	76	8.4	8.6
2	週3、4回利用している	64	7.1	7.2
3	週1、2回利用している	125	13.8	14.1
4	その他	107	11.8	12.1
5	利用していない	515	56.8	58.1
6	不明	19	2.1	
	サンプル数(%ベース)	906	100	887



自転車の利用目的

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	通勤・通学	68	18.3	18.6
2	買い物	173	46.5	47.3
3	仕事(配達等)	24	6.5	6.6
4	サイクリング	38	10.2	10.4
5	子供などの送迎	33	8.9	9
6	遊び・娯楽・レジャー	53	14.2	14.5
7	その他	24	6.5	6.6
8	不明	6	1.6	
	サンプル数(%ベース)	372	100	366

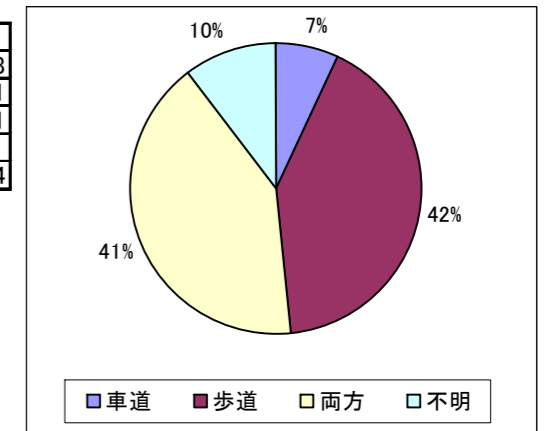


(2) 自転車の走行状況

- 車道を走行している人は7%にとどまり、歩道もしくは両方を合わせて自転車通行で8割強が歩道を利用している。
- 走行時の速さとしては、「歩行者よりやや速い」が7割強となっているが、実際には20 km/h程度はでているのではないと思われる。

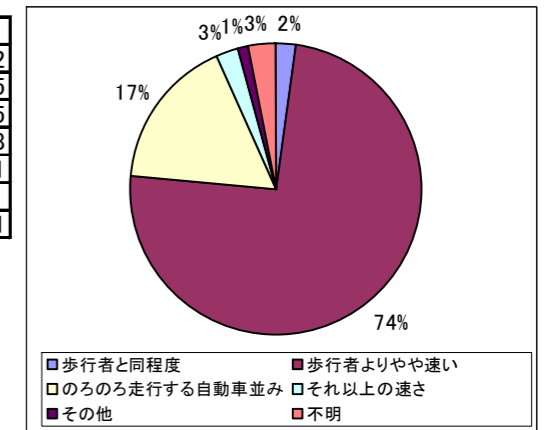
問1 自転車での走行場所

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	車道	26	7	7.8
2	歩道	154	41.4	46.1
3	両方	154	41.4	46.1
4	不明	38	10.2	
	サンプル数(%ベース)	372	100	334



問1 自転車での走行速度

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	歩行者と同程度	8	2.2	2.2
2	歩行者よりやや速い	276	74.2	76.5
3	のろのろ走行する自動車並み	63	16.9	17.5
4	それ以上の速さ	10	2.7	2.8
5	その他	4	1.1	1.1
6	不明	11	3	
	サンプル数(%ベース)	372	100	361

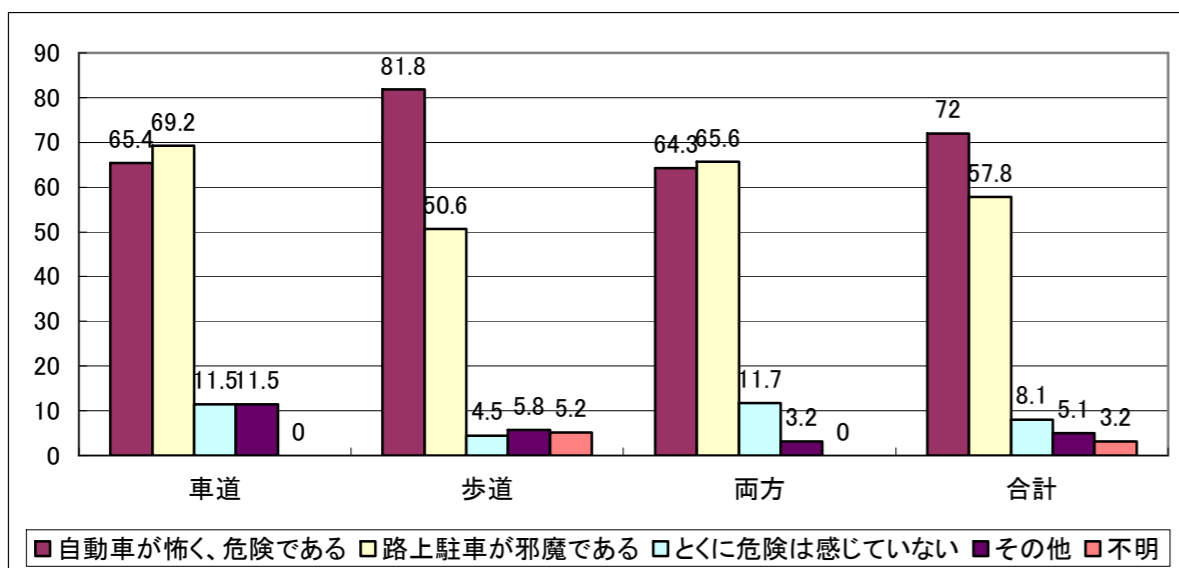


(3) 自転車による走行時の危険性について

- 「自動車が怖く、危険である」が多く、安心して走行できる環境にないことが伺える。
- 走行場所別にみると、歩道を走行する人の8割強が「自動車が怖く危険」と感じている。その一方、車道を走行している人は6割強と少ない。
- 歩道を走行していて危険を感じたことがある人は8割弱おり、そのうち、歩行者とぶつかりそうになり危険を感じた人が半数近くいる。

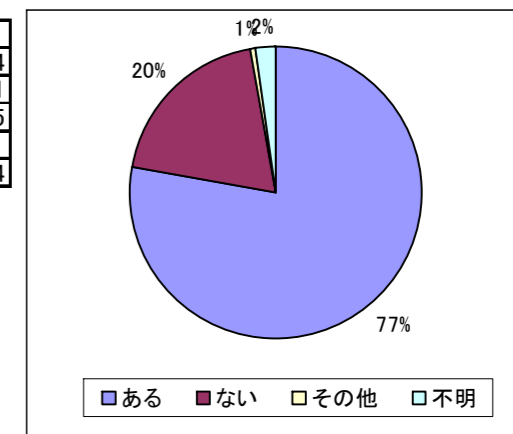
問2

走行場所	車道	サンプル数	危険性				
			自動車が怖く、危険である	路上駐車が邪魔である	とくに危険は感じていない	その他	不明
車道		26	17	18	3	3	
			65.4	69.2	11.5	11.5	0
歩道		154	126	78	7	9	8
			81.8	50.6	4.5	5.8	5.2
両方		154	99	101	18	5	
			64.3	65.6	11.7	3.2	0
不明		38	26	18	2	2	4
			68.4	47.4	5.3	5.3	10.5
合計		372	268	215	30	19	12
			72	57.8	8.1	5.1	3.2



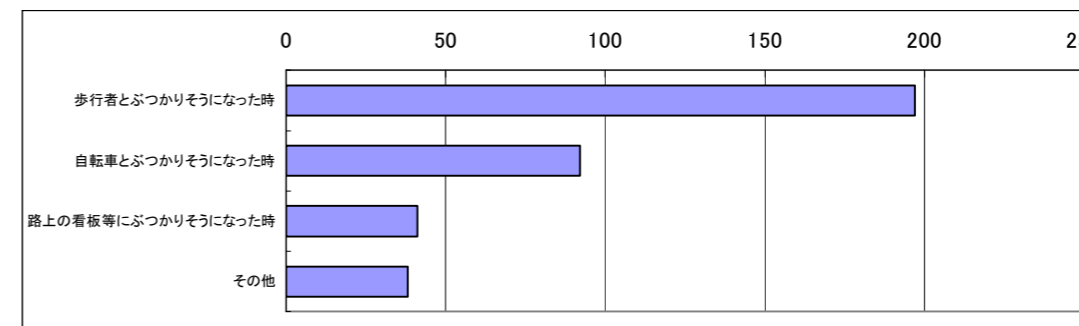
問3 歩道走行時の危険性の有無

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ある	289	77.7	79.4
2	ない	73	19.6	20.1
3	その他	2	0.5	0.5
4	不明	8	2.2	
	サンプル数(%ベース)	372	100	364



問4 危険な場面(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	歩行者とぶつかりそうになった時	197	53	69.4
2	自転車とぶつかりそうになった時	92	24.7	32.4
3	路上の看板等にぶつかりそうになった時	41	11	14.4
4	その他	38	10.2	13.4
5	不明	88	23.7	
	サンプル数(%ベース)	372	100	284



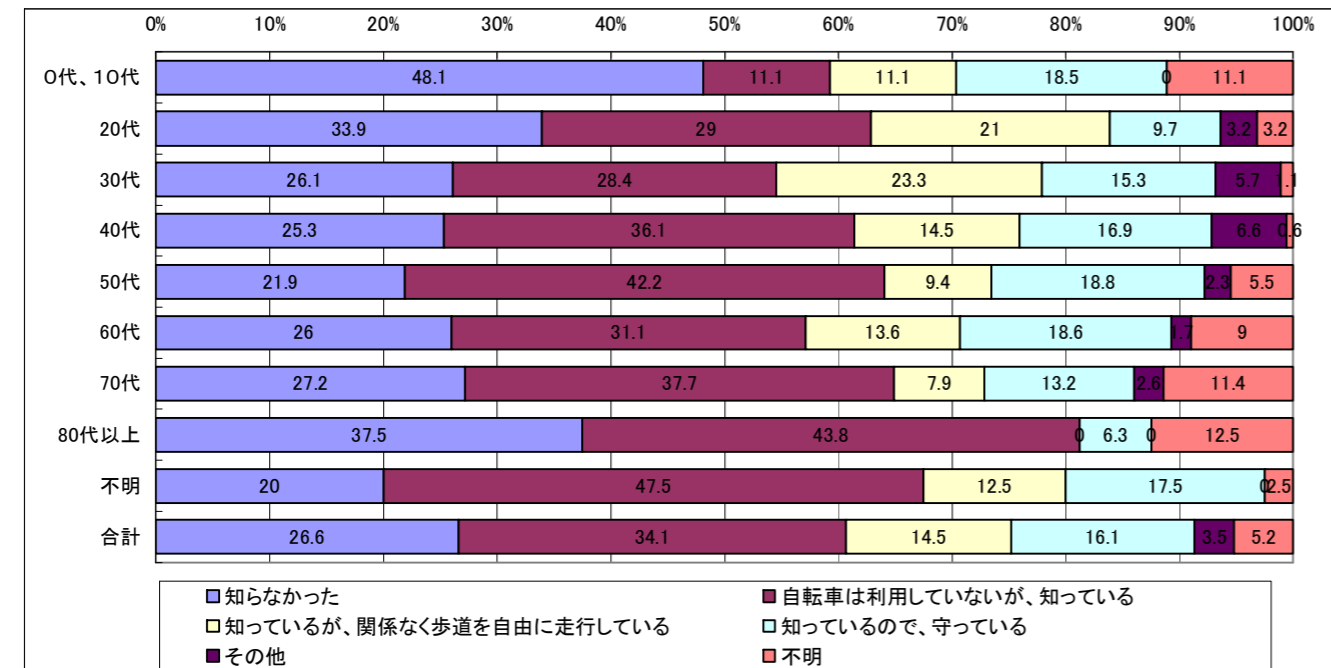
2-3. 自転車利用に関するルール・マナーの認識度

(1) 自転車による歩道の通行方法について

- 全体では、歩行者優先ルールは、3人に一人は知らないという傾向にある。
- 年代別にみると、10代の半数、80代以上の4割弱がルールを知らない。
- 自転車で走行している場所別にみると、車道を走行している人の5割強がルールを守り、車道を走行しているが、自転車で歩道を走行している人の約30%はルールを知らず、また約35%の人は、ルールを知っているにもかかわらず、歩道を通行している。
- 自動車の運転状況別にみると、運転している人が23.5%に対して、運転していない人が32.4%と多いことから、交通法規を免許取得時（更新時）に学習する機会があるかないかが影響しているものと考えられる。

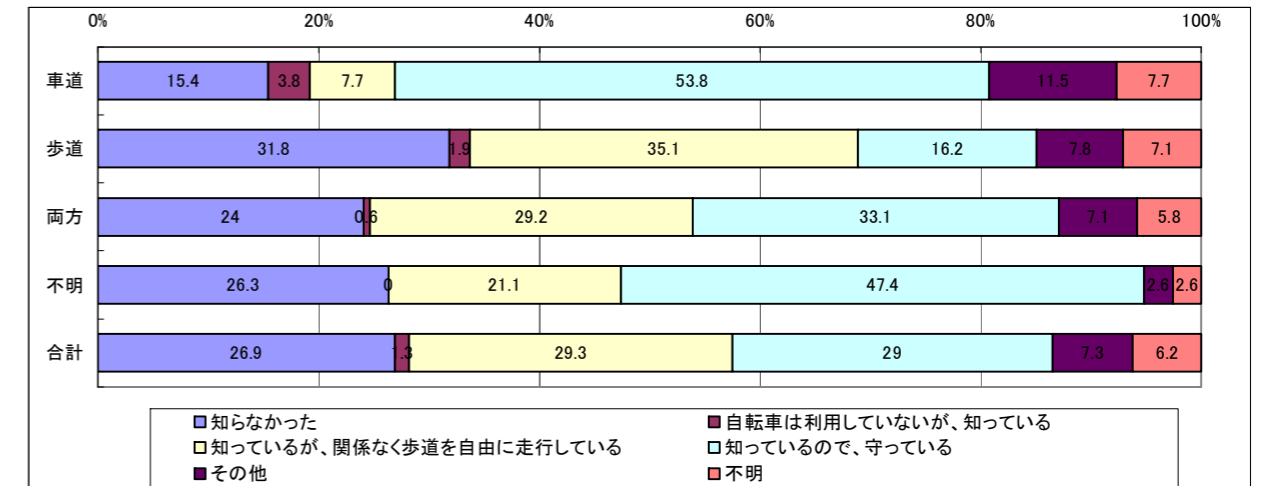
年代×問5
度数:横%

		問5						
		知らなかった	自転車は利用していないが、知っている	知っているが、関係なく歩道を自由に走行している	知っているのに、守っていない	その他	不明	合計
年代	0代、10代	13	3	3	5		3	27
		48.1	11.1	11.1	18.5	0	11.1	100
20代		21	18	13	6	2	2	62
		33.9	29	21	9.7	3.2	3.2	100
30代		46	50	41	27	10	2	176
		26.1	28.4	23.3	15.3	5.7	1.1	100
40代		42	60	24	28	11	1	166
		25.3	36.1	14.5	16.9	6.6	0.6	100
50代		28	54	12	24	3	7	128
		21.9	42.2	9.4	18.8	2.3	5.5	100
60代		26	31.1	13.6	18.6	1.7	9	100
		31	43	9	15	3	13	114
70代		27.2	37.7	7.9	13.2	2.6	11.4	100
		6	7		1		2	16
80代以上		37.5	43.8	0	6.3	0	12.5	100
		8	19	5	7		1	40
不明		20	47.5	12.5	17.5	0	2.5	100
		241	309	131	146	32	47	906
合計		26.6	34.1	14.5	16.1	3.5	5.2	100



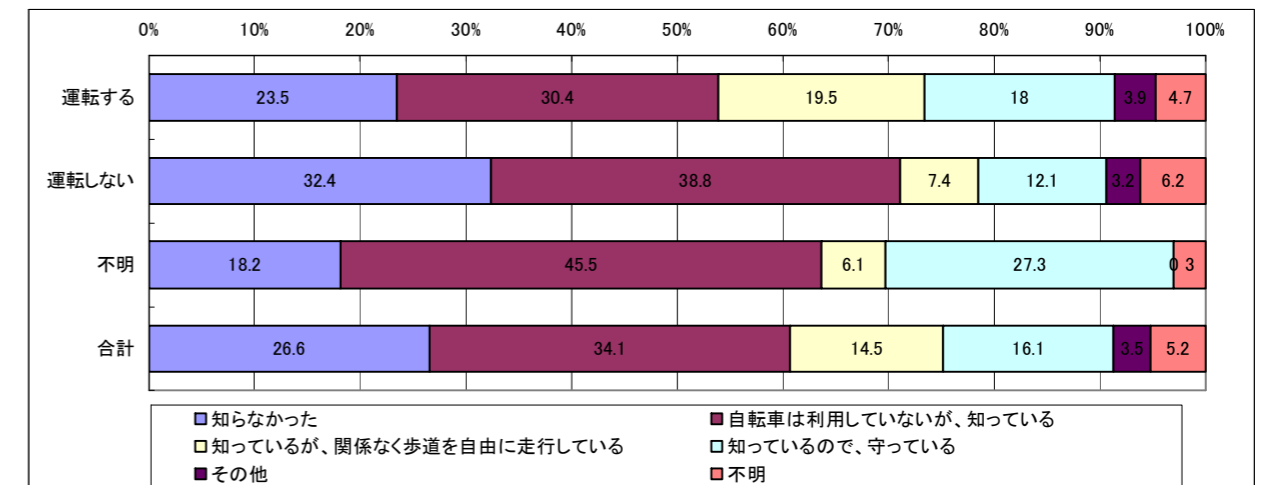
走行場所×問5
度数:横%

		問5						
		知らなかった	自転車は利用していないが、知っている	知っているが、関係なく歩道を自由に走行している	知っているのに、守っていない	その他	不明	合計
走行場所	車道	4	1	2	14	3	2	26
		15.4	3.8	7.7	53.8	11.5	7.7	100
歩道		49	3	54	25	12	11	154
		31.8	1.9	35.1	16.2	7.8	7.1	100
両方		37	1	45	51	11	9	154
		24	0.6	29.2	33.1	7.1	5.8	100
不明		10		8	18	1	1	38
		26.3	0	21.1	47.4	2.6	2.6	100
合計		100	5	109	108	27	23	372
		26.9	1.3	29.3	29	7.3	6.2	100



自動車の運転状況×問5
度数:横%

		問5						
		知らなかった	自転車は利用していないが、知っている	知っているが、関係なく歩道を自由に走行している	知っているのに、守っていない	その他	不明	合計
自動車の運転状況	運転する	125	162	104	96	21	25	533
		23.5	30.4	19.5	18	3.9	4.7	100
運転しない		110	132	25	41	11	21	340
		32.4	38.8	7.4	12.1	3.2	6.2	100
不明		6	15	2	9		1	33
		18.2	45.5	6.1	27.3	0	3	100
合計		241	309	131	146	32	47	906
		26.6	34.1	14.5	16.1	3.5	5.2	100

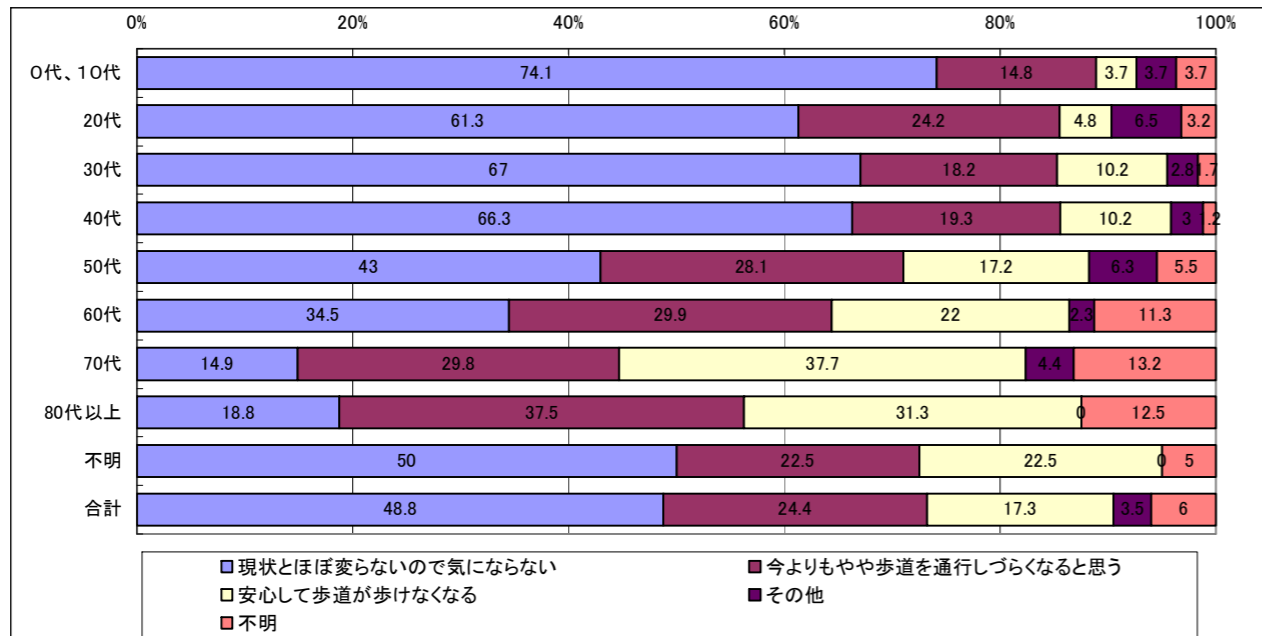


(2) 道交法改正に伴う歩道を通行する自転車による危険性について

○全体では、道交法改正の影響に関しては、現状とほぼ変わらないという認識の人が5割弱であるが、年齢別にみると、50代以上になると高齢になるほど、歩道を通行しづらくなる、安心して歩道が歩けなくなる人が増加する傾向にある。とくに、70代・80代になると7割近い人が不安を感じている。

年代×問6
度数：横%

		問6					合計
		現状とほぼ変わらないので気にならない	今よりもやや歩道を通行しづらくなると思う	安心して歩道が歩けなくなる	その他	不明	
年代	0代、10代	20	4	1	1	1	27
		74.1	14.8	3.7	3.7	3.7	100
20代		38	15	3	4	2	62
		61.3	24.2	4.8	6.5	3.2	100
30代		118	32	18	5	3	176
		67	18.2	10.2	2.8	1.7	100
40代		110	32	17	5	2	166
		66.3	19.3	10.2	3	1.2	100
50代		55	36	22	8	7	128
		43	28.1	17.2	6.3	5.5	100
60代		61	53	39	4	20	177
		34.5	29.9	22	2.3	11.3	100
70代		17	34	43	5	15	114
		14.9	29.8	37.7	4.4	13.2	100
80代以上		3	6	5		2	16
		18.8	37.5	31.3	0	12.5	100
不明		20	9	9		2	40
		50	22.5	22.5	0	5	100
合計		442	221	157	32	54	906
		48.8	24.4	17.3	3.5	6	100

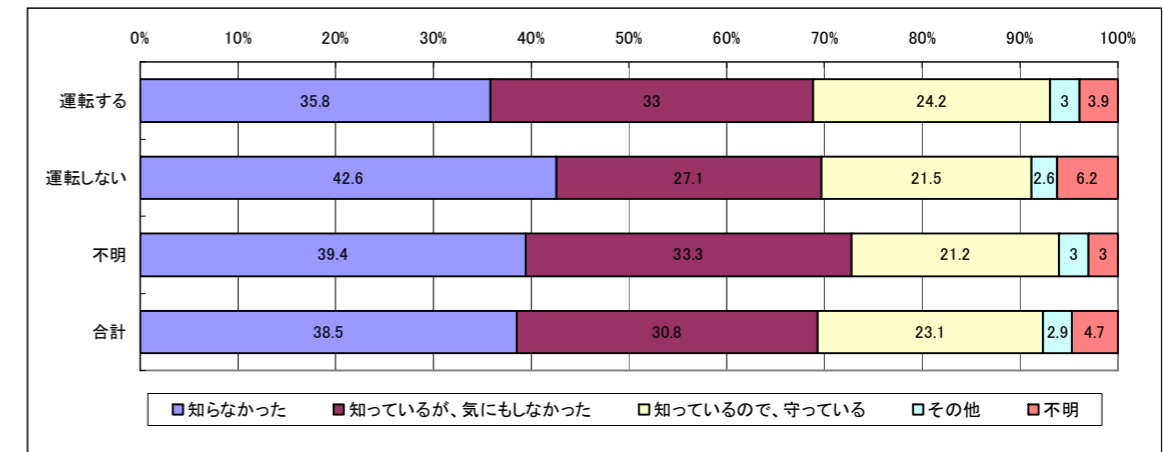


(3) 自転車通行可の標識やカラー舗装の認識度

○自転車通行可の標識等を知らない人が4割もおり、周知するための対策が必要と考えられる。
○自動車の運転の有無には関わらず、3~4割が知らない。
○自転車の走行場所別にみると、歩道を走行している人が4割強が標識等を知らないのに対して、車道を走行している人の5割が知っている。

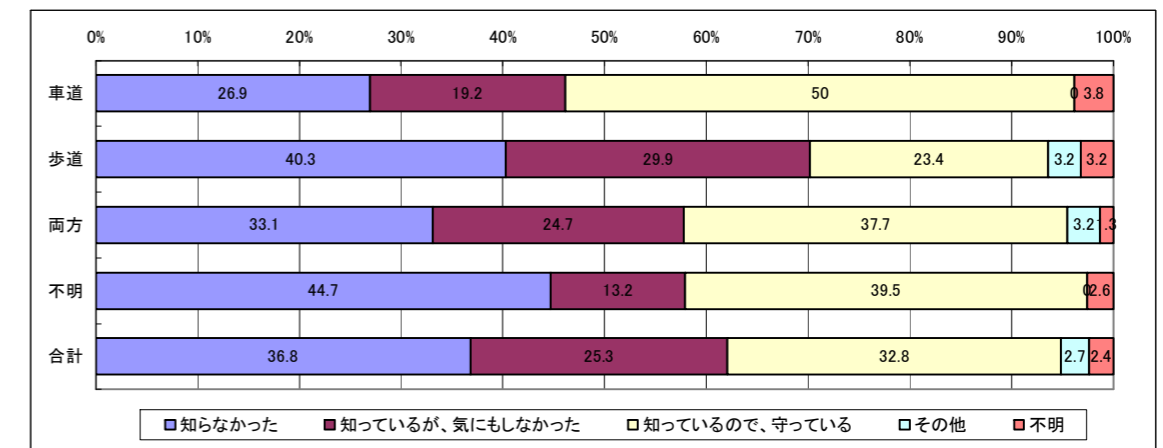
自動車の運転状況×問7
度数：横%

		問7					合計
		知らなかった	知っているが、気にもしなかった	知っているの で、守っている	その他	不明	
自動車の運転状況	運転する	191	176	129	16	21	533
		35.8	33	24.2	3	3.9	100
	運転しない	145	92	73	9	21	340
		42.6	27.1	21.5	2.6	6.2	100
	不明	13	11	7	1	1	33
合計		349	279	209	26	43	906
		38.5	30.8	23.1	2.9	4.7	100



走行場所×問7
度数：横%

		問7					合計
		知らなかった	知っているが、 気にもしなかった	知っているの で、守っている	その他	不明	
走行場所	車道	7	5	13		1	26
		26.9	19.2	50	0	3.8	100
	歩道	62	46	36	5	5	154
		40.3	29.9	23.4	3.2	3.2	100
	両方	51	38	58	5	2	154
		33.1	24.7	37.7	3.2	1.3	100
不明		17	5	15		1	38
		44.7	13.2	39.5	0	2.6	100
合計		137	94	122	10	9	372
		36.8	25.3	32.8	2.7	2.4	100

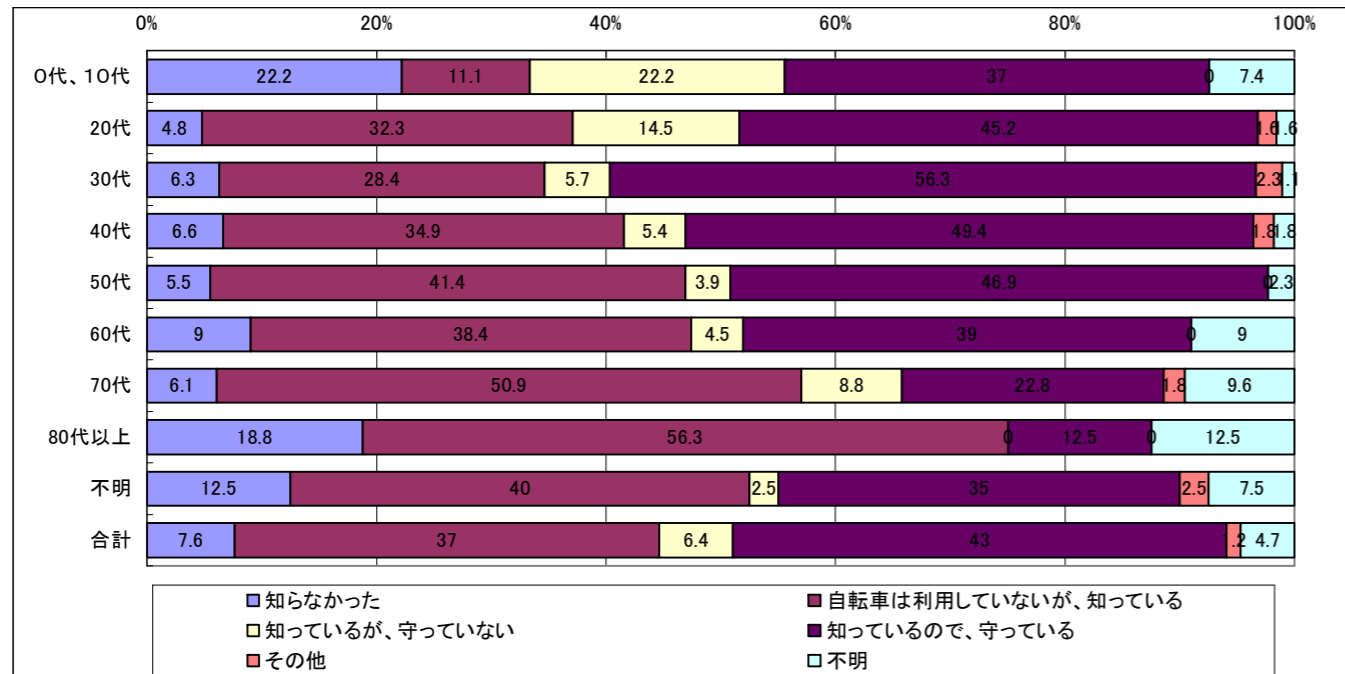


(4) 自転車走行時の違法行為について

- 自転車走行時の違法行為については、ほとんどの人（9割）が知っている。
- 年代別にみると、10代と80代以上においてルールを知らない人がそれぞれ2割と多くなっている。
- また、10代、20代ではルールを知っていても守っていない人が15~20%と他の世代よりも多い。

年代×問8
度数:横%

		問8						
年代		知らなかった	自転車は利用していないが、知っている	知っているが、守っていない	知っているのに、守っている	その他	不明	合計
0代、10代		6	3	6	10		2	27
		22.2	11.1	22.2	37	0	7.4	100
20代		3	20	9	28	1	1	62
		4.8	32.3	14.5	45.2	1.6	1.6	100
30代		11	50	10	99	4	2	176
		6.3	28.4	5.7	56.3	2.3	1.1	100
40代		11	58	9	82	3	3	166
		6.6	34.9	5.4	49.4	1.8	1.8	100
50代		7	53	5	60		3	128
		5.5	41.4	3.9	46.9	0	2.3	100
60代		16	68	8	69		16	177
		9	38.4	4.5	39	0	9	100
70代		7	58	10	26	2	11	114
		6.1	50.9	8.8	22.8	1.8	9.6	100
80代以上		3	9		2		2	16
		18.8	56.3	0	12.5	0	12.5	100
不明		5	16	1	14	1	3	40
		12.5	40	2.5	35	2.5	7.5	100
合計		69	335	58	390	11	43	906
		7.6	37	6.4	43	1.2	4.7	100

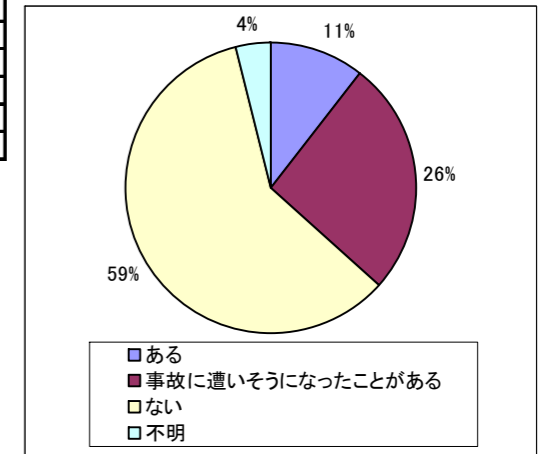


(5) 歩道通行時の事故の経験

- 歩道上で、自転車事故に遭いそうになったを足すと3人に一人が危険な目にあっていることが分かる。
- 事故の状況としては、「後ろから来た自転車との衝突」、「横から出てきた自転車もしくは歩行者との衝突（出会い頭）」が多い。

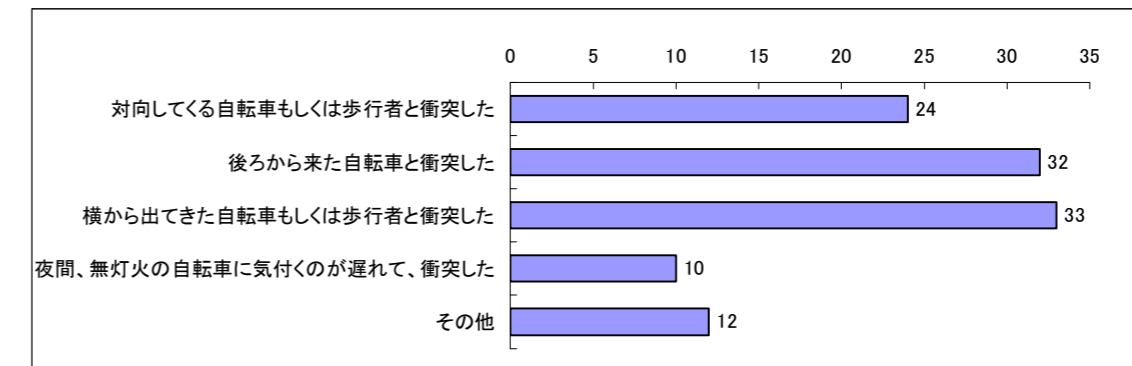
問9

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ある	96	10.6	11
2	事故に遭いそうになったことがある	235	25.9	27
3	ない	540	59.6	62
4	不明	35	3.9	
サンプル数 (%ベース)		906	100	871



問10 事故の内容(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	対向してくる自転車もしくは歩行者と衝突した	24	25	26.4
2	後ろから来た自転車と衝突した	32	33.3	35.2
3	横から出てきた自転車もしくは歩行者と衝突した	33	34.4	36.3
4	夜間、無灯火の自転車に気付くのが遅れて、衝突した	10	10.4	11
5	その他	12	12.5	13.2
6	不明	5	5.2	
サンプル数 (%ベース)		96	100	91



2-4. 自転車対策に対する要望

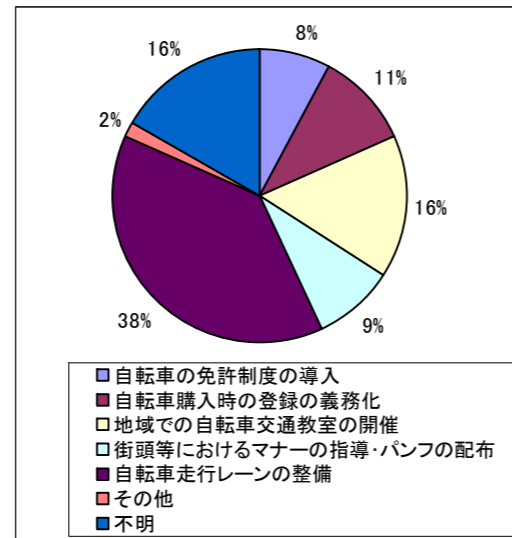
○取り組むべき自転車対策として、第一要望として、回答者の約4割の方が、「自転車走行レーンの整備」と回答している。

○二番目の要望として、「地域での自転車交通教室の開発」が多くなっている。

○これらの回答は、個人属性等には関係なく、同様の傾向を占めている。

問11 1番目の対策

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	自転車の免許制度の導入	70	7.7	9.3
2	自転車購入時の登録の義務化	97	10.7	12.8
3	地域での自転車交通教室の開催	142	15.7	18.8
4	街頭等におけるマナーの指導・パンフの配布	82	9.1	10.9
5	自転車走行レーンの整備	350	38.6	46.4
6	その他	14	1.5	1.9
7	不明	151	16.7	
	サンプル数(%ベース)	906	100	755



問11 2番目の対策

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	自転車の免許制度の導入	43	4.7	7.8
2	自転車購入時の登録の義務化	118	13	21.3
3	地域での自転車交通教室の開催	150	16.6	27.1
4	街頭等におけるマナーの指導・パンフの配布	101	11.1	18.3
5	自転車走行レーンの整備	125	13.8	22.6
6	その他	16	1.8	2.9
7	不明	353	39	
	サンプル数(%ベース)	906	100	553

